

学校教育目標	○自ら学び伸びる (知) ⇒ 学び合う過程「課題をもつ」「筋道を立てて考える」「活用する」「振り返る」のサイクルを大切に、一人ひとりの学びを伸ばします。			
	○共に生きる (徳・公・開) ⇒ 豊かな人間関係を築くため、互いに認め合い支え合うとともに、地域社会や広い世界と関わりながら、平和や人権を大切に生きていく力を育てます。			
○健やかな体をつくる (体) ⇒ 自他の生命を尊重し、健やかな体を育てます。				
学校概要	創立 74 周年	学校長 安田 慎司	副校長 大石 敏寛	3 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 569 人		主な関係校: 不動丸小、今宿小、白根小、今宿南小、本宿小、鶴ヶ峯小	

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	鶴ヶ峯中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>「自分で判断し、進んで行動する力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題を認識し、協働的に解決策を見だし実行することにより、自らの生き方を追求する姿勢 ものごとを多面的・総合的に考え、主体的に社会参画し、よりよい社会を創る態度 	鶴ヶ峯中学校 不動丸小学校	<p><自分で判断し、進んで行動する児童・生徒></p> <p>学力：基礎基本を大切に、他との学び合いを通じて確かな学力 共生：人や自然とのふれあいを大切に、お互いを認め合い支え合って生きていく力 健康：自他の生命を尊重し、健康な体づくり</p>

中期取組目標	<p>○「主体的・対話的で深い学び」となるような授業を目指すなかで、生徒一人ひとりが未来を切り拓くための資質・能力を育成でき、自身の学びが実感できるように支援します。</p> <p>○温もりのある教育活動の中で、コミュニケーション力を高めるとともに、自他ともに大切にすると心と体の育成を図ります。</p> <p>○特別支援教育の視点を重視し、ユニバーサルデザインを大切にしたい個に応じた支援体制の充実を図ります。</p> <p>○学校運営協議会を中心に、家庭・地域・関係機関との連携を図り、社会全体で子どもたちを育成する環境づくりを進めます。</p> <p>○生徒や保護者・地域の要望と教職員の働き方改革の推進とのバランスを図りながら、PDCAサイクルに基づいた学校運営に取り組みます。</p>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<p>知 生きてはたらく知</p> <p>担当 研究部学習係</p>	各教科で育む新しい時代に求められる資質・能力を明確化し、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から、教科等の本質に迫る「考える授業」に向けた授業改善を行います。また、公開授業等による教職員の相互評価を行うことで、授業力向上にも努めます。
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 研究部道徳係</p>	道徳では、対話的な学習を通して、道徳的諸価値を多面的多角的に深く捉える時間とします。人権作文に全校で取り組むと共に「平和」をテーマに人権講演会を行い、人権に対する意識を高めます。学校行事や学習場面で、誰もが主人公になる場面設定をし、自尊感情や他者に寄り添う心を育てていきます。
<p>体 健やかな体</p> <p>担当 保健指導部</p>	健康診断や健康観察等を活用し、生徒の健康課題を考え、学年に応じた適切かつ系統的な保健教育を進めます。全校生徒が学校保健委員会に参加し、心身の健康に興味関心を持ち、自分たちの健康課題を考える機会をもちます。生涯健康で過ごすためにはどうしたら良いかを考え、実行できる力を育てる3年間にします。
<p>公開 地域学校協働活動</p> <p>担当 学家地・学校運営協議会</p>	学校と地域をつなぐ取組の充実を図り、多くの生徒が地域と関わることができるよう工夫します。地域コーディネーターとの連携し、地域の力を学校へ取り入れます。学校運営協議会を通じて、地域や関係諸機関との連携により本校の課題解決の方法を探り、生徒の健全育成に努めます。
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	いじめの早期発見のために、生徒見守り体制の強化、いじめアンケート等による生徒の実態把握の機会を増やします。未然防止のために、社会的スキル向上を目指した取り組みを行います。隔週でいじめ防止対策委員会を実施し、情報交換や指導方針の検討を行い、いじめに対し組織的に対応します。
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 管理研修、教育課程、管理職</p>	メンターがメンティーより具体的な助言を受ける機会を定期的に持つと共に、教職員がそれぞれのステージにおける人材育成を意識し、経験の浅い職員の資質・能力のレベルアップを図ります。働き方改革の視点から、持続可能な体制作りを目指し、校務分掌や業務の見直しについて全職員で検討し改善を図ります。
<p>生徒指導</p> <p>担当 生活指導部</p>	温もりのある指導になるように職員の共通認識を高めるための研修や、SNSや発達障害・不登校などの研修を積み重ねます。年間予定の教育相談と共に、日常から生徒との関係づくりを進めていくことで生徒が抱える諸問題の予防・早期発見に努めます。YPプログラム等を使い積極的生徒指導に取り組みます。
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援委員会</p>	学習相談会を定期的に開催することで、学習の遅れやつまずきを感じている生徒への支援体制を整えます。また、特別支援教室における職員体制を整え、段階的な目標設定を中心に、生徒一人ひとりの実態に応じた指導計画・支援計画を策定します。
<p>学びの場の連携</p> <p>担当 教育課程委員会</p>	小中一貫ブロックにおいて、目指す子どもの姿や育む力を共有し、前の段階での教育が次の段階で生かされるよう、教育課程等の円滑な接続を図ります。小中間の情報交換や研修会などの取組を通して、学びの場の連携を図ります。
<p>防災・安全教育と管理</p> <p>担当 保健指導部</p>	避難訓練などを通して、災害時の安全確保のために、自ら考え行動できる力を育みます。「はまっ子防災プロジェクト」を活用し、自然災害に対する理解を深め、起こりうる危険を予測し、災害に備える力を育みます。交通安全教室では、交通マナーを守り、自ら考え、安全に行動することができる力を育みます。